

学務部（重要）

【国際教養学部】

- 新4年生へ
卒業要件：124単位以上、GPA1.50以上。
卒業論文：勝手に進めず担当教員と十分に相談すること。盗用された文章のある論文、未完成の論文の提出は一切認められません（発覚した場合、点数を取り消します）。
- 3年次進級要件：2015年度入学生より進級要件はTOEIC500点以上です。
- 教育実習：教職課程を履修している学生の教育実習参加基準：TOEIC600点以上。3年次後期までの全ての教職課程科目を修得していること。

【教育学部】

- 卒業論文：卒業論文登録要件の一つに、各学期のGPA平均値が1.50以上とあります。毎学期、確認しましょう。
- 教科書：教科書を購入する人は、申込書をメールにて提出してください。
- 教員採用試験：教員採用試験受験日が近づいています。目標達成に向けてしっかり勉強してください。
- 予防接種：学外での実習等では様々な人との接触がありますので、「麻しん・風しん」の予防接種を必ず規定回数受けていることを確認してください。また季節によっては「インフルエンザ」の予防接種も受けておくことをおすすめします。

【両学部】

- TOEIC IPについて
進級、教育実習参加基準等の要件を満たしていない学生やハイスコアを目指す学生のためにTOEIC IPを受験する機会（有料3,075円）を下記のとおり予定しています。
第1回：3月14日（水）予定 * 全員有料
第2回：4月1日（日） * 新1年生、新3年生は必ず受験してください。新1年生、新3年生は無料で受験できます。
- 大学からの連絡
春季休業期間中も大学からの連絡がメールにて行われます。毎日メールを確認するようにしてください。

地域連携センター

地域連携センターは、本学の教育資源を生かして地域内外の小・中・高等学校、大学、企業や自治体などに対して貢献するために多岐にわたる連携活動を行っています。

本年度では小学生を対象に「英語村」、中学生校及び高校生を対象に「出前講座」、大学生を対象に「学生間の交流」を行いました。企業との連携では、本学のPBL科目「地域実践演習」の講師として太陽銀行の職員を講師としてお招きしてフィールド・ラーニングを行いました。自治体との連携においては、英語教育改革のための研究活動に参加するなどグローバル人材の育成に貢献してきました。

2017年度の活動で特に紹介したいのは、綾町との連携協定書の締結及び「羽ばたけ！グローバル・リーダーセミナー」の実施です。綾町とは8月に連携協定書を締結しました。現在、来年度に向けて綾ユネスコエコパーク推進室や教育委員会との連携事業を計画しています。また、2018年1月6～8日に実施した「羽ばたけ！グローバル・リーダーセミナー」では、10校の高校生31人が2泊3日の英語による宿泊セミナーに参加しました。高校生は3日間の講義や交流を通して本学の教職員及び学生と一緒に次世代のリーダーに必要な資質や自らの将来像について考える密度の濃い時間を過ごしました。次年度も多くの高校生の参加を楽しみにしてみます。

これらの詳細は本学ホームページでご覧下さい。
(<https://www.mic.ac.jp/news/archives/725>) (<https://www.mic.ac.jp/news/archives/794>)

事務局（前期学費の納入及び学生駐車場について）

前期学費の納入期限は4月10日（火）です。学費振込依頼書は保護者様宛に送付いたしますので、期日までの納入をお願いします。期限までの納入が困難な場合は、4月10日（火）までに総務部へご相談ください。

本学の駐車場利用希望者は同封された申込書を期日までに提出してください。インターネットからの申込みも可能です。詳しくはメールを確認してください。 ※締切：平成30年3月20日（火）午後5時（必着）

宮崎学園図書館

平成30年2月5日（月）、平成29年度多読賞*の授賞式を宮崎学園図書館で行いました。おめでとうございます。今後も多くの学生さんのご利用をお待ちしています。

*貸出冊数の上位者※漫画は除く

国際教養学部				教育学部			
1位	3年	中島 梨花さん	121冊	1位	3年	楠原 舞祐さん	172冊
2位	4年	佐藤 望さん	110冊	2位	4年	山下 昇平さん	161冊
3位	2年	速見 考祐伎さん	84冊	3位	3年	脇元 陽菜さん	120冊
3位	1年	川添 粒華さん	84冊	4位	4年	奥津 愛花里さん	118冊
5位	3年	氏名記載希望なし	79冊	5位	4年	森岡 香奈さん	114冊

宮崎国際大学

在学生・保護者向けニューズレター



2017年度後期

Newsletter for MIC students and parents

February, 2017

学長あいさつ

本年度を振り返り、保護者の皆様には本学の教育に対しまして、深いご理解とご協力を頂きましたことに、厚くお礼を申し上げます。

創立24年目の今年度は、宮崎国際大学の歴史に新たな一ページが加わる年となりました。国際教養学部へ続き、2つ目の学部として4年前に設置した教育学部の第1期生がいよいよ卒業を迎えます。1期生として大きなプレッシャーを抱えながらも、自らの歴史を刻んでいってくれた学生、それを全力でサポートした教職員のチームプレーは素晴らしいものでした。教育学部の就職面では、公立小学校教員採用試験の一次試験に15名が合格し、二次試験には8名が現役合格（1名はダブル合格）、公立を含め幼稚園や保育園に5名が合格するなど大変素晴らしい実績を残してくれました。

同時に、国際教養学部学生と教員の活躍もめざましく、グローバル人材の育成、英語教育など本学の教育は、テレビや新聞など報道機関でも大きく取り上げられました。国際教養学部の就職状況は、海外の上場企業や客室乗務員などの民間企業に、また英語教員は過年度卒を含めると公立中高教諭3名、私立高校4名の合格など、現時点（2/15）で、国際教養学部は91.4%の就職率となっています。大変喜ばしいことです。

さらに昨年度、後援会のお力添えによって完成した国際交流ラウンジは、朝早くから、夜遅くまで、一生懸命に勉強する学生たちに十分に活用されています。学生たちのひたむきに学ぶ姿は素晴らしいです。1年生、2年生、3年生は、自らの夢の実現に向けて、さらに勉学を深めて欲しいと願っています。

いよいよ、国際化の日本を、そしてこの宮崎を宮崎国際大学がリードしていく時代の到来です。宮崎国際大学は、世界へ羽ばたく学生を育て、地域に愛され、求められ、信頼される大学を目指していきます。

「平成29年度アクティブ・ラーニングシンポジウム」を開催

平成29年11月25日（土）、シーガイア・コンベンションセンターでアクティブ・ラーニング・シンポジウムを開催し、大学教育再生加速プログラム(AP)の取組について報告しました。平成26年度に文部科学省に採択された本学のAP事業では、「アクティブ・ラーニングによってクリティカル・シンキングを育成する」という教育理念を基盤に、効果的アクティブ・ラーニングモデルの提示、独自のクリティカル・シンキングテストの作成、学修成果可視化のためのルーブリックやe-ポートフォリオの活用を推進し、学修の質の担保及び向上のためのメカニズムの構築を目指しています。

本シンポジウムは山下学長の挨拶から始まり、ピーターズ副学長のAP事業紹介の後、各ワーキンググループが進捗状況を報告しました。各ワーキンググループは、アクティブ・ラーニングの研究、クリティカル・シンキングテストの開発、ルーブリック及びeポートフォリオの活用について発表しました。最後に、APプロジェクトリーダーである西村学長補佐が2年後の最終年度に向けた今後のAP事業の構想について話し、本シンポジウムは閉会しました。平成26年に始まった宮崎国際大学のAP事業は今年で4年目を迎えました。本事業の原動力である各ワーキンググループはプロジェクト後半時期に入り、より緊密な連携・協働の中、その取組を活発化しています。



本紙コンテンツ

- ・学長あいさつ
- ・文部科学省AP事業「平成29年度アクティブ・ラーニングシンポジウム」を開催
- ・国際教養学部お知らせ
- ・教育学部お知らせ
- ・新年度前期オリエンテーション
- ・各種お知らせ

学生部、グローバル教育センター
就職・進学支援課、カウンセラー
学務部、地域連携センター
事務局、宮崎学園図書館

国際教養学部お知らせ

国際教養学部3年生が「交換留学」より帰国！有意義だった国際交流

私は3年生後期に、韓国のヨナム大学へ4ヶ月間交換留学に行きました。当初友達日本人の同級生一人だけという状態で、しかも英語力にも自信が持てませんでした。しかし、他の留学生達がとても優しく接してくれ、気づいた時には色々な国の人達と毎日英語でお喋りしている自分がありました。日本に帰国後の今も連絡を取り合っており、去年は友達に会いにシンガポール、マレーシア、メキシコを訪問しました。この交換留学がなければ行くことがなかったであろう国に行き、それと同時に日本との文化の違いも学ぶことができました。例えば、メキシコでは日本と違い、女性はおしりの大きな人がセクシーとされ、服装も肌が露出するものを好んで着る傾向がありました。私がメキシコでも体型を気にしていたら、友達から「何で日本人は体型を気にするくせに露出が激しい服を着ないの？」と聞かれ、虚を衝かれたような思いでした。このように、自分の中では当たり前過ぎて考えもしない些細なことも、海外に出ることで気づくこともあります。今後活動の場を海外にすることも視野に入れながら、英語を駆使して日本の良さや他国から学ぶべきことを発信していけたらと思います。(上野 聡子)

ワークスタディー学生アシスタント制度について

MICにはワークスタディーアシスタントという制度があります。私はそのメンバーとして他の学生に授業外で個別に学習指導を行っています。指導に当たってはまず教える箇所を私が確実に把握している必要があるため、自分の復習作業にもなります。また、英語力と教育力は必ずしも比例するものではなく、この制度に参加する以前は自分では分かっていたが他人に「なぜ」を説明出来ないことが殆どでした。私は教職課程を履修しており、この教育力の向上も必須の課題でした。そこでこのアシスタント制度を活かし、自分の知識を言語化して他者と共有することでこの課題を徐々に克服しました。私のように英語力向上や将来教員を目指す学生は、与えるだけでなく得る物も多いこのワークスタディーアシスタント制度に参加されてみてはいかがでしょうか。(平井 悠)

教育学部お知らせ

熱気のみなぎる教育実習報告会開催

教育実習が終わって1週間後の12月11日、3年生全員が書いた教育実習報告書を基に、教育実習報告会を開催しました。小幼コースと幼保コースに分かれ、それぞれの会場で報告会が行われました。どちらの会場でも、3年生が教育実習の経験談を1、2年生に一生懸命報告し、それを下級生が熱心に聞いていました。

小幼コースでは、四つのブースを設けて3年生が6、7人ずつに分かれ、3年生の熱のこもった体験談に下級生が耳を傾けるという、昨年と変わらぬ真剣な、熱気のみなぎる報告会でした。下級生からの質問もたくさん出されていました。

幼保コースは、二つのグループに分かれ、1、2年生が3年生を困らせた温かな雰囲気の中で報告会が行われました。どちらの会場でも、参加した1、2年生からとても貴重な話が聞けてよかったという感想が聞かれました。

ここで、3年生の実習報告書から一部を紹介します。

「最も印象に残っているのは子どもたちと学校で過ごしていたときの充実感です。毎日学校に行き、子どもたちと遊んだり、指導案を作ったりと、正直かなり忙しいとは思いますが、毎日本当に楽しくて、それとは逆に休日には学校に行けないことの寂しさが募っていました。実習を終了したという達成感には確かにありますが、それよりも喪失感が大きいという結果になりました。」



新年度前期オリエンテーション

前期講義が始まる前に、新年度前期オリエンテーションを実施します。新2,3,4年生が対象です。全員出席してください。

日時：4月5日(木) 9:05～ 場所：宮崎学園短期大学 新校舎3階 35及び36教室

※4年生は12:00からレントゲン検診を実施します。金具・ボタン等の着いていないシャツ(Tシャツ等)を準備してください。レントゲン検診は、就職活動に必要な健康診断書項目の一つです。2,3年生の受診日は別に設けます。

各種お知らせ

学生部

学友会活動

平成29年5月2日(火)に発足して以来、平成29年度学友会(役員21名)は学生生活をさらに充実させようと、様々なイベントを企画・実施して、学生をまとめ盛り上げるなど、頼もしい活躍してくれました。

4月に改選を行い、5月には新たなメンバーで学友会が発足します。今年度役員を担当された方は、新学友会役員の良き相談相手となり、時にはアドバイスをするなどして、新学友会をサポートしてくれることを期待しています。約1年間、お疲れ様でした。



学友会活動の様子(スポーツ大会、ハロウィンパーティー他)

新規奨学金申込み説明会

日本学生支援機構、宮崎県育英資金、壽崎育英資金等の新規申込み希望者を対象に説明会を4月4日(水)に実施します。後日メールで時間・場所については連絡をしますので、希望者は出席してください。壽崎育英資金は1年間の期間限定奨学金です。継続ではないので、次年度も継続して申し込む場合は説明会に出席が必要です。

グローバル教育センター

春期休業期間中に海外へ旅行する予定の方は、自分のために、また、家族のために必ず以下の二つのことを実行してください。一つは、外務省の海外安全ホームページで「たびレジ」に登録すること。「たびレジ」は、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。メールの宛先として、自分のアドレス以外に家族のアドレス等も登録できます。皆さんもよく知っているように、海外は日本のように安全ではありません。身の安全を確保するための情報は積極的に入手して、安全で楽しい海外旅行をしてください。二つ目は、海外旅行保険に入ること。海外の医療費は極めて高額です。例えば、アメリカで虫垂炎(盲腸)の手術をした場合、1日～3日の入院で200万円以上かかります。足を捻挫して治療を受けると約10万円、骨折ともなると、20万円以上はゆうにかかります。クレジットカードに付いている保険は極めて限定的な保険ですので、海外に出る場合は、しっかりした保証のある海外旅行保険(勉強の場合は海外留学保険)に入ってください。2週間ほどであれば、1万円弱の保険料となります。少額の掛け金で大きな安心を確保することができます。海外に行く予定がある人は、上記二つのことを必ず実行して、有意義な、そして楽しい旅行をしてください。

今年海外研修に参加する学生とその保護者を対象とした、第2回海外研修説明会を平成30年4月8日(日)に開催します。次年度2年生になる学生は自分のカレンダーに入れておいてください。また、海外研修から帰ってきた学生も、当日の午後に相談会を実施しますので、出席の方、よろしく願います。皆さんの貴重なアドバイスを後輩とその保護者の皆さんに提供してあげてください。3年生で交換留学を希望する学生は個別に相談を受けますので、いつでも西村グローバル教育センター長のオフィスに来てください。

就職・進学支援課

国際教養学部4年生は多くの方が9月に就職活動を終え、現在は殆どの方が企業・教員・大学院などの進路を決定しています。教育学部4年生は、7月の教員採用試験から就職活動が始まり、公立小学校教員に7名が採用され、宮崎市役所(幼保)や県内の幼稚園・認定こども園、企業などにも決定しています。

企業希望の3年生は、3月の説明会参加から本格的な就職活動が始まります。これまで様々な就職ガイダンスを実施してきましたが、企業研究やエントリーシート作成、面接試験対策など事前準備をしっかりして臨んで欲しいと思います。春休み期間中も進路や就職活動に関する相談を受け付けていますので、希望者は事前連絡して就職・進学支援課まで来てください。

カウンセラー

「学生の皆さんは、悩みを多く抱える時期です。自力で解決したい人もいるし、親しい相手に打ち明ける人もいます。解決までの道のりは人それぞれですが、『カウンセラーに相談する』という選択肢を持っておくことも有効です。カウンセラーは、皆さんのよりよい学生生活のお手伝いをしたいと願っておりますので、気軽に来談してください。」 カウンセラー 坂邊夕子